

森正一

もりしょういち

活動報告 第40号

発行日 令和4年1月13日 / 発行者 もり正一後援会 (討議資料)
連絡先 館山市八幡277-19 / TEL 090-2652-3218
ホームページ <http://www.awanew.com>



森正一 プロフィール

- ・昭和42年5月17日生まれ、54歳
- ・北条小、三中、安房高、東北大学工学部卒
- ・館山市議会議員、現在3期11年目
- ・文教民生委員会委員
- ・たてやま21・緑国会会派代表
- ・北条FC代表、館山市サッカー協会監事

はじめに

令和3年第4回館山市議会定例会が11月30日から12月21日までの会期で開催され、一般質問で、「市民の健康維持・増進について」、「妊娠・出産・子育て支援の充実について」、「市庁舎の建て替え問題について」、「英語教育について」質問しましたのでご報告させていただきます。

行政
一般質問
1

質問・回答要旨・所感



市民の健康維持・増進について

Q1) コロナ禍における様々な活動・行動の制限により、高齢者の健康への影響についてどのように分析しているのか？

A1) 医療・介護・福祉関係者等からは、「骨折患者が増えている」、「認知症状が進んでいる方がいる」などの声を聞いている。令和元年房総半島台風での被災や新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化が複合的に高齢者の健康状態に影響を与えている可能性もあるが、それらを明確に示すデータ等はまだまだなく、あくまで推定される状況であり、予防的な対策に取り組みつつ、今後の動向を注視していきたい。

Q2) 今後、市民、特に高齢者に対する健康維持・増進策についての施策は？

A2) これまで、家庭内のできる運動の推進や体力づくりの啓発などを広報紙や防災無線、通いの場の参加者への電話連絡等により行ってきた。現在、緊急事態宣言が解除され、通いの場が再開しているので、健康相談や健康教育などの支援をさらに積極的に推進していく。また、医療や介護を受けていない独居高齢者に対し、保健師の訪問指導を実施していく。今後も関係機関や地区組織と連携し、感染対策を講じた上で、高齢者の健康維持・増進を図っていく。

所感

新型コロナの感染拡大により、自主的に休業する介護事業所があったり、利用者側にも通所を控える傾向が見られましたが、大半の事業所が感染防止対策を徹底しながら営業を継続し、介護サービスを利用されている方は、食事・運動・人との交流を含めた最低限の外出機会が確保されていました。これに対し、介護サービスを利用されていない方の中には、市などが主催する